

「私を変える祈り」₃

2024.5.22
祈りのシリーズ③
ルカの福音書 11: 2～4

私たちが「主の祈り」を祈るときを考えてみましょう。

礼拝において「主の祈り」を祈るとき、1つ1つの祈りに心を込めて祈っているでしょうか。会衆の声に合わせて気がつくと、意識せずに途中まできていないでしょうか。

マルチン・ルターは「主の祈り」は「最大の殉教者」と名付けました。「主の祈り」の奥義を深く考えないで、形だけ唱えることが多いということです。

私たちはその奥義を更に知り、豊かな恵みに与りたいと思います。

今日の聖書の学びの要点

- ・みことばのように、私たちの心が神の御国となっているか。神の支配される処となり、主の思い通りになっているのか深く考え祈る。

I、御国、神の支配

(ルカ 11: 2)

1、「御国」とは何でしょうか。

御国 = 王国 1人の王が支配する国、領域

主の祈りの御国とは、神が支配する国、領域、天国のこと・・・

2、国はその王が誰であるか。誰によって、支配されるかによって、国の体制が変わります。

- ・人間が王である国：王自身の欲や、人の歓心など世のものに囚われる国。
サタンに誘導され易く、不安、不満に満ちている
- ・神が王である国：愛に富み、全知全能で人を変える力がある王の国
完全で、平安と恵みに満ちている

3、私たちは神の御国、神の支配される処を、どこに来て下さいと祈るのが良いでしょうか。

①今の世界の国々、日本、地域 …

②私たちの周り…

③私たちの心の中…

Ⅱ、御国が来ること

「みこころが天で行われるように、地でも行われますように」
(マタイ 6:10)

1、天のみこころが行われるとは、どういうことでしょうか？

- ・天＝父なる神、主イエス・キリスト、ご聖霊
- ・地＝地上、世界、私たちの周囲、自分自身、自分の心
- ・行われる＝父なる神、主イエス・キリスト、ご聖霊の思い通りに成る

2、この祈りのように、神のみこころが完全に自分に成されても良いでしょうか。

- ・自分の思い、希望、願いが神様のみこころと違う場合、従うことができますか？

3、笹尾鐵三郎師の証し

明治中期、彼は立身出世を志し、アメリカに留学することになったが、家族から絶対キリスト教徒になってはならないと言われ渡されていた。ところが、日本滞在歴のあるホームステイ先の一家は熱心なクリスチャンだった。熱心な祈りと賛美の生活の中に、教会に導かれ、救いにあずかった。その後、主の祈りをいつものように唱える中「みこころが天で行われるように、地でも行われますように」の一文が心に強く示され、十字架のキリストの愛が強く迫ってきた。彼は地でも、自分にも成されますようにと、自分を全く明け渡した。その直後、ご聖霊が彼の内に注がれ、彼は全く変えられた。

帰国後、彼は牧師となり、一族全員クリスチャンとなった。彼はホーリネス教団を組織し、日本ホーリネス教団は現在に至っている。